

スパシフィラムの育て方

スパシフィラムはサトイモ科の植物で、熱帯地方に30数種が自生しています。高温多湿を好みますが、耐寒性、耐陰性のある丈夫で作り易い植物です。

年間管理

管理	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
置き場所		室内の明るい所												
水やり		かなり控えめ		控えめ		鉢土の表面が乾いたら						控えめ		控えめ
施肥		1～2カ月に1回の置肥												
植え替え 繁殖		植え替え 株分け												

置き場所

かなり暗い場所にも耐えられる植物ですが、明るい場所に置かないと花が咲きません。年間を通じてレースのカーテン越しの光の入る明るい窓辺に置きます。株によっては真夏の日光で葉焼けすることがあります。その場合は部屋の中央付近に置くか、遮光を強くして光を和らげます。戸外に出して、木陰に置いて良いでしょう。冬は最低5℃以上に保ちます。

水やり

生育期間中（4～10月頃）は鉢土の表面が乾いたら、たっぷりと与えます。高温多湿を好みますので、灌水の他に1日2回程度霧水すると良いでしょう。冬は水を控え、乾かし気味に管理します。目安として、鉢土の表面が乾いてからさらに2～3日経ってから与えます。

肥料

4～10月頃まで1～2カ月に1回の割合で油粕等の置肥を与えます。なお、あまり頻繁に肥料を与えると花が咲かないことがありますので、注意します。

病害虫

ハダニやカイガラムシが生育期によく付きます。灌水や霧水をする時には、葉裏にも水をかけ、ハダニの予防に努めます。カイガラムシは見つけしだい柔らかいブラシでこすり落とします。ハダニ、カイガラムシともひどく発生している場合には、殺虫剤を散布して防除します。

